

障がい者雇用の方として農園を開園しました

当社は、障がい者雇用支援サービスを行う株式会社エスプールプラスと契約を結び、愛知県春日井市にオープンした「ソーシャルファーム わーくはびねす 農園 あいち春日井」を障がい者雇用の方として、農園スタッフ3名、農園長1名の計4名を雇用し、令和元年6月12日に農園を開園しました。

当農園は約3,000坪の敷地に大型のビニールハウス4棟が立ち並び、区画を分割して企業に貸し出され、当社はその内の6区画を使用します。

農作物は「フィールド養液栽培装置」という土の代りに細かく砕いたパミス（軽石）を大型のプランター（栽培用ベッド）に入れた設備で栽培します。この栽培法の利点は、土を使用しないため砂ぼこりが舞わず、鍬も使用しないので、農園スタッフが神経質になる心配がなく、安心・安全に農園作業を行うことができます。



開園に先立ち本社で執り行われた入社式
令和元年6月4日



石拾い作業中

今後は、収穫物を社内での無料提供や、社内研修として社員が農園スタッフと一緒に農園作業を体験することによって、障がい者への理解を深め、障がい者を受け入れる社風を醸成して行きたいと考えています。

6月12日に農園は開園しましたが、まだ整地がされていない状態のため、まずは、農園スタッフと農園長の4名が力を合わせて、石拾いや、水平器で測りながら整地をし、地面の上にプランターを設置するところから始めます。農作物の栽培開始は8月下旬頃を予定しています。



整地作業中